

各務原市次期総合計画基本構想(素案) に対するご意見と市の考え

各務原市では、令和7年度からスタートする10年間の新しい総合計画の策定を進めています。総合計画のうち、本市の「将来都市像」並びにその実現のための「基本理念」及び方向性を示す「基本構想(素案)」を公表し、下記のとおりパブリックコメントを実施しました。

その結果、6名の方からご意見をいただきました。いただいたご意見と市の考え方は次のとおりです。提出されたご意見は、趣旨を損なわない程度に要約し、できる限り内容ごとに整理・分類した上で市の考え方を示しています(順不同)。

なお、今回のパブリックコメントは、「各務原市次期総合計画基本構想(素案)」の内容に対するものですので、「対象箇所」が示されていない、募集の趣旨と直接関係ないご意見につきましては、貴重なご意見として今後策定を予定している基本計画の参考にさせていただきます。

◆実施期間

令和5年10月2日(月)から 令和5年10月22日(日)まで

◆意見の提出状況

提出者数 6名

提出意見数 14件

ご意見 1

対象箇所	P10 序論 6 市民の声 (1) 市民意識調査 ⑥幸福度
ご意見	
<p>令和5年3月実施の各務原市「まちづくりに関する市民意識調査」報告書からの引用になると思いますが。</p> <p>「幸福度 (well-being)」は抽象的な表現なので、平均値が 7.05 の数値から市民が何をイメージできるか不明です。(全国都道府県何位とかであれば単純明快ですが)</p> <p>そのため、例えば引用元調査の問 19 (同調査 110 ページ) の『前回調査 (平成 30 年調査) よりも「仕事と生活のバランス」などが高く』と問 41 (同調査 136 ページ) 『前回調査 (平成 30 年) に比べ、～「自由な時間があること」などが高く』との調査結果から、「well-being ではライフワークバランスや人生のタイムデザインへの関心が強まっている」などの「市民の声から言えること」を記述されるとアンケート調査が総合計画 (素案) に反映されていると市民が実感できるのではないかと思います。</p>	
各務原市の考え	
<p>「幸福度」は個人の主観的なものであり、例えば、生活水準や身体的健康、他者との関わりなど様々な要因が影響しているため、個別の施策についての評価では測ることができないと考えております。そのため、現行の総合計画では、「幸福度」の平均値の推移を将来都市像の達成度として評価しております。令和4年度の市民意識調査では、18歳以上市民・中高生ともに、平成30年度調査より上昇していることから、将来都市像の実現に向けた施策は着実に推進できていると評価しております。</p> <p>基本構想 (素案) では、将来都市像の実現に向けて、市民一人ひとりが幸せを実感できるまちづくりの指標として「幸せ指標」を設定し、ライフステージや生活全般において市民が「幸せを感じられているか」を確認することで、市民一人ひとりの幸せ感が向上することを目指したいと考えております。</p>	

ご意見 2

対象箇所	P15 第1編 基本構想 1 将来都市像 4行目
ご意見	
<p>「そして、各施策を連携させていくことが、課題解決の鍵になると考えたからです」 →私は、各施策の KPI を達成することが課題解決の鍵ではないかと考えています。「つながりづくり」は大切なことであるとは感じますが、そこに至るまでの論点の整理が無いとロジックの飛躍を感じます。</p>	
各務原市の考え	
<p>将来都市像の達成に向けて、各施策において達成指標を設定し、進捗管理を行っていくことは重要であると考えております。</p> <p>そのため、今後策定を予定している基本計画では、将来都市像の実現に向けた施策の方向性とその数値目標を検討する予定としております。</p>	

ご意見 3

対象箇所	—
ご意見	
<p>私は、名古屋駅に電車で通勤できるメリットがある鵜沼駅近辺で土地を探して購入し、愛知県から引っ越しをしてきました。私が住む鵜沼台は高齢化が進み、若い世代が少なく、数年後の世代交代時には少子化が進んでしまうように思います。各務原西側は、市役所庁舎の新調を始め、イベント豊富な市民公園があり、さらには岐阜市にも数分で行けるなど、若い世代にとっても住みたいと思える地域になっていますが、各務原の東側は特にそのような魅力的なものはなく、あまり活気的な地域とは言えません。今後各務原を魅力的な街にするためには、西側の発展のみならず、各務原から唯一名古屋駅に直結する東側にも力を入れたほうが、より若い世代にとっても魅力的な市になると思います。例えばですが、鵜沼駅を岐阜駅と同じように商業ビル化にすれば、間違いなく鵜沼駅が魅力的になると思います。予算的に厳しければ、何もない連絡通路にお店を出店するなどすれば、「何もない鵜沼駅」から、「賑わいのある鵜沼駅」に変わるかと思えます。私のように、「名古屋への通勤が便利なところに住みたい」「都会から少し離れて暮らしたい」という考えの人は、今のご時世多いかと思えます。</p>	
各務原市の考え	
<p>市内で最も乗降客数の多い駅である JR 鵜沼駅・名鉄新鵜沼駅の周辺は、本市のまちづくりの総合的な指針である「各務原市都市計画マスタープラン」や、コンパクトシティ形成を推進するための「各務原市立地適正化計画」におきまして、「東の都市拠点」と位置付け、周辺地域の生活の拠点として、商業、医療、福祉等を集積させ、市の東の玄関口としてふさわしい活気ある拠点を形成することとしております。</p> <p>その取り組みの一つとして、令和5年5月に、JR 鵜沼駅前広場及び鵜沼空中歩道を「歩行者利便増進道路」（通称：ほこみち）に指定し、JR 鵜沼駅前広場においてキッチンカーが出店するイベントを開催するなど、まちの活力や魅力の創出に取り組んでいるところです。</p> <p>また、鵜沼地区におきましては、現在、特別支援教育の拠点となる新特別支援学校（令和7年4月開校予定）や、スポーツ・防災・にぎわいの拠点となる新総合体育館・総合運動防災公園といった、本市にとって重要な拠点施設を整備しているところです。</p>	

ご意見 4

対象箇所	—
ご意見	
<p>ここ数年でリモートワークが増え、犬などのペットを飼う方が増えています。私も犬を飼っていますが、ドッグランは美濃加茂の里山公園まで行っています。各務原にも里山公園みたいに無料で利用できるドッグランがあると嬉しいです。</p> <p>各務原市はとても魅力的で、今後とも住み続けたいと思える街です。活気が出るように、参考にしてくだされれば嬉しいです。</p>	
各務原市の考え	
<p>市内や周辺エリアには、民間のドッグラン施設があることから、市がドッグラン施設を整備することは考えておりませんが、本市には、市民公園や学びの森、自然遺産の森など、ペットとともに過ごすことができる、自然豊かで広大な公園がありますので、リードをつけるなどのルールを守り、お楽しみいただきたいと思いますと考えております。</p>	

ご意見 5

対象箇所	—
ご意見	
<p>大きく景観が良い、散歩ができる公園があるといいと思います。健康にもいいですし、なかなか「歩ける公園」が不足していると思います。市民公園もありますが、夜に散歩は保安市にしづらいですし木も大きいので影になってしまって怖いです。そうではなく、明るく、自然も等間隔で整備された、見晴らしの良い公園があると行きやすいです。市民公園は子どもの遊び場のような感覚ですが、デートもできる大人のための公園がほしいです。</p>	
<p>私は1年間韓国にワーキングホリデーに行っていました。京畿道始興市にあるベゴ生命公園によく行きましたが、花や芝もしっかり管理され、葉が少ない木が等間隔に植えられ景観がよく、夜になると照明もつくので21時になってもランニングやデート、家族や犬の散歩をしている人が多くいました。ベンチもブランコのように屋根があって上から吊るされている形なのであまり不潔にはならず衛生的でした。</p>	
<p>日本の公園はなかなか大人がいきたい場所ではないですが、そこは洗練されていてデザインがおしゃれ、写真が撮りたくなるような、行きたくなるような公園でした。Instagramを見るとカフェ紹介などがよく目につきますが、そうではなく、デートスポットや写真映え、女性でも1人でも安心していけるような、ウォーキングが楽しくできる公園があると、市外からも人が多く来てくれるのではないかと思います！世界の最近の公園のクオリティは進化しているのだなと感じました。</p>	
<p>私はその公園の近くに住めて運が良かったと思います。その公園の近くの家はさすがに高かったですが、その分その公園に価値をみんなが見出しているんだなと感じました。本当に美しく、癒されました。</p>	
各務原市の考え	
<p>本市には、バラエティに富んだ多くの公園があり、市民の憩いの場となっています。代表的な公園として、市街地の中心部に所在しながら、緑あふれ、多くの市民に愛されている市民公園と学びの森があります。</p>	
<p>市民公園は、岐阜大学跡地に整備され、広大な敷地には自然が広がり、遊具等の設備も充実していますが、整備されてから30年以上が経ち、老朽化や時代に合わせた利用ニーズの多様化など、様々な変化に向き合うタイミングを迎えていることから、現在、リニューアル整備を計画しております。リニューアルにあたっては、「パークリノベミーティング」を開催し、利用者目線の意見を取り入れながら、幅広い世代の方に親しまれる公園となるよう検討を進めているところです。</p>	
<p>学びの森は、敷地内にカフェやギャラリーがあるほか、学びの森プロムナード(いちよう並木)は、秋には紅葉、冬にはイルミネーションが楽しめるなど、四季折々の様子を楽しむことができる公園です。また、学びの森に隣接し、木育施設やテイクアウトできる飲食店が整備された「KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE」があり、市民公園、学びの森と一体となって、にぎわいと魅力のあるエリアを形成しています。</p>	

ご意見 6

対象箇所	—
ご意見	
<p>子供福祉について、目標設定が低すぎる。子供に対する手当は、もはや子供のためだけでなく、急激な人口減少社会にいる日本全体の社会問題の根本である。他県、他市からも、子供を持つ世帯が各務原市に住みたいと思うだけの市民への直接的なサポート（費用手当や収入制限によらない無償化）は明石市の例を見るように市を好転させる。人間社会は急速な人口減少に対応しておらず社会問題が多く顕在化する。その社会問題の一つ一つに対症療法で対応するのではなく、根本解決をこころみるのが政治行政の役目であろう。日本一の子供に熱い（手厚いサポート、子供に捧げる熱い情熱）サポートを掲げるべきではなかろうか。どの方位からも比較的批判されにくくあるために総花的で全方位的な優先順位になってしまうので有ろうが、子供に対する充実の優先順位は高めるべき。人口減少を各務原市のみで食い止めることは出来ないが、子供が多くいる、子供を持つ親が住みたい社会を目指すことこそ、社会問題の好サイクルを生み出す起点となる。</p>	
各務原市の考え	
<p>少子高齢化の進展による人口減少は喫緊の最重要課題であり、本市においても少子化対策を強力に推進していく必要があると考えております。</p> <p>そのため、基本構想（素案）におきましては、新たに、「基本目標2 みんなで心豊かな子どもを育むまち《出産・子育て・教育》」を掲げ、地域社会全体で子どもを守り、子育て世帯を支えることで、安心して子どもを産み、未来を担う子どもたちが学び、心豊かでたくましく成長することができるまちをめざすこととしています。</p>	

ご意見 7

対象箇所	—
ご意見	
<p>「各務原市は健康長寿・しあわせのまち」を項立てしてほしい。</p>	
各務原市の考え	
<p>基本構想（素案）におきましては、ご意見の趣旨を含む、「基本目標5 みんなで支えあい健やかに暮らせるまち《健康・医療・福祉》」を掲げ、子ども、高齢者、障がいのある人もない人も、すべての市民が住み慣れた地域でつながり、支え合い、生涯にわたって健康でいきいきと幸せに暮らせるまちをめざすこととしております。</p>	

ご意見 8

対象箇所	—
ご意見	
<p>○高齢化による、「限界集落化」の回避を図ってはいかがか：3年先、5年先への対応（特に1940年頃入居の団地の）課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の移動手段で難儀：傾斜団地でふれあいバス停までいけない、緊急避難時・集会・移動図書館利用・ふれあいボランティア行事参加・シニアクラブ参加、自治会の組長の広報配布等難儀、（特に、住宅へのアプローチの階段12・3段）歩いていけない <p>⇒地域の人口構成、高齢化率、在宅フレイル者、自家用車所有率、アプローチ階段数、ゴミステーションまでの距離、分布など、基礎データ＝現状把握・実態調査からの立案が必要（何もデータがない）</p>	
各務原市の考え	
<p>超高齢化に伴う高齢者の生活支援につきましては、現状でも重要な課題として捉え、ふれあいバスやチョイソコかかみがはら等による移動・外出支援やごみ出しの支援による地域コミュニティの助け合い等、各種施策を推進しているところです。</p> <p>基本構想（素案）におきましては、分野別の9つの基本目標を掲げておりますが、こうした課題解決のためには、さらに、それらに横串を入れて施策を展開する必要があると考えております。</p> <p>なお、高齢化率等の各種データにつきましては、今後策定を予定している基本計画の検討におきまして、現状とともに2040年頃を見据えた将来推計も含めて活用し、施策を立案してまいります。</p>	

ご意見 9

対象箇所	—
ご意見	
<p>○自治会の限界：現自治会役員は半数が 80 歳以上？・50 歳前後の共働きの主婦が主体？・特に組長は広報配布、回覧管理（特に、住宅へのアプローチの階段 12・3 段）、・ご不幸の情報管理（個人情報？組長まで訃報が来ない、情報確認できない、など難儀）・ゴミステーション当番管理（当番パスする人の対応で、できる、できないを組長が判断？医者ではない：難儀）・自治会行事ができなくなった</p> <p>⇒現在の自治会の事業、役員の年齢構成、有職者率、連絡・検討・意思決定など集会数、区長・自治会長の現状に対する意見の集約（特に、事業計画などへの見解）</p> <p>○空き家、空き地、非自治会員多くなりつつあるが、連絡・ゴミステーション当番など誰が、どのような管理・義務で対応するのか⇒区会（他地区の事例が必要）または市の基準？がほしい。</p>	
各務原市の考え	
<p>自治会加入率の低下、自治会役員の高齢化や担い手不足等につきましては、現状でも重要な課題として捉え、加入促進や負担軽減の取り組みを推進しているところです。</p> <p>基本構想（素案）におきましても、「基本目標 1 みんなが活躍する協働のまち《市民協働》」を掲げ、「自分たちでまちをつくる」という意識の下、一人ひとりが個性や力を発揮し、多様な主体がお互いを信頼し協力し合う、協働のまち、つながりのあるまちをめざすこととしております。</p>	

ご意見 10

対象箇所	—
ご意見	
<p>住民の意識：もうここには住めないと転出者・娘が急に来られなくなったので今日は医者に行けない・急に医者に行きたいがタクシーがない</p> <p>⇒「お困りことアンケート」は何かの現状把握（誰も知ろうとしない・何もデータがない）必要と思うが誰がするの</p>	
各務原市の考え	
<p>移住定住の促進や、公共交通や都市基盤の充実につきましては、現状でも課題として捉え、各種施策を推進しているところです。</p> <p>また、市政に対する市民の皆様のご意見、ご提案等につきましては、「あさけんポスト」、「まちづくりミーティング」、各種計画策定時の市民アンケート等、様々な機会を設け、把握に努めております。</p>	

ご意見 11

対象箇所	—
ご意見	
「各務原市次期総合計画基本構想」策定の基礎データに、高齢者・傾斜団地・自治会などの現状・実体把握から3・5年先への対応を計画されたい。	
各務原市の考え	
基本構想で示す将来都市像の実現に向けて必要な施策につきましては、2040年頃を見据え、今後策定を予定している基本計画の検討の中で市の現状や課題を分析し、計画してまいります。	

ご意見 12

対象箇所	—
ご意見	
<p>市民の一番の願いは、住みやすい街です。第一は通勤・通学の便利さであり、高齢になれば、自家用車無しで生活が出来ることです。第二は都市機能の充実。第三は東南海地震への備え。この3点について提案いたします。</p> <p>市民の移動手段や公的機関を、既にある鉄道駅を中心に考える。</p> <p>①通勤・通学の交通手段は、自転車と鉄道の乗継で完結させる。</p> <p>その意味では、各駅に駐輪場が完備されたことは高い評価に値する。しかし、新鶴沼駅近くののにんじん通り(400m)の通勤時間帯を見ると、自転車は勿論、歩くことも危険です。そのため駅への送迎者が多くなり悪循環に陥っている。</p> <p>※この時間帯は、車を駅方向に一方通行にして歩道部を確保する提案。</p> <p>※誰もが利用する施設は、将来に向かって、鉄道駅から歩ける範囲に設ける。</p> <p>②交通弱者の手段は、チョイソコかかみがはら・ふれあいバス・鉄道で解決させる。</p> <p>そのため、日常生活に必要な・病院・食品スーパー・鉄道駅・役所・ATMは、1エリア又は1ルートでカバーできるように設計する。</p> <p>③高齢者の最後の拠り所：東海中央病院への交通手段を簡単にする。</p> <p>今はふれあいバスと岐阜バスで一部対応できるが、ダイヤが複雑であり、自分でダイヤ表を整理しないと利用は難しい。</p> <p>※三柿野～（蘇原駅）～東海中央病院～（各務原高校）間に循環バスを設ける。</p> <p>鉄道を利用すれば、簡単に効率よく目的地に到着できる。（1時間2本）</p>	
各務原市の考え	
<p>本市の公共交通につきましては、「各務原市立地適正化計画」や「各務原市地域公共交通網形成計画」により、鉄道及び路線バスを公共交通体系の東西軸とし、ふれあいバス、チョイソコかかみがはら、民間事業者が連携し、地域住民の生活行動に応じた利用しやすい公共交通ネットワークを形成することで、「鉄道やバスを利用して、皆が健康で、安心かつ快適な暮らしを実現できるまち」を目指しているところです。</p> <p>特に高齢者の移動手段の確保につきましては、現状でも重要な課題として捉えており、これまで、ふれあいバスの路線やダイヤ改正、チョイソコかかみがはらの本格運行等、公共交通の充実に努めているほか、自治会等がタクシー事業者などを活用して、高齢者の移動支援に取り組む場合の経費の一部を市が補助する制度も設けております。</p> <p>引き続き、ふれあいバス等懇談会の開催等を通して、地域住民や利用者の方々と意見交換を行いながら、公共交通施策の充実に努めてまいります。</p>	

ご意見 13

対象箇所	—
ご意見	
<p>都市機能を充実させる</p> <p>①運転免許証の更新機関を市内に設ける。 ※今、高齢者は免許更新の都度2回も岐阜市又は関市まで行っている。</p> <p>②法務局、県税事務所の出先機関を市内に設ける。 ※今は何をすることも岐阜市まで出かける必要がある。</p> <p>③各務原高校と各務原西高校を統合し交通の利便性を高め、有名校にする。 ※大学進学・情報工学等に強い高校にする（統合は少子化対策の意味も含む）。学校は鉄道利用を前提にし、各務原西高校の用地と学びの森で確保する。（片道7km以上も自転車通学をしないようにする・各務原高校）。</p>	
各務原市の考え	
<p>市内における国や県の出先機関等の設置等につきましては、国や県の計画によることから、現状では困難であると考えておりますが、今後とも、便利で快適性の高い住みよいまちづくりに努めてまいります。</p>	

ご意見 14

対象箇所	—
ご意見	
<p>東南海地震を想定した被災者支援を強化する。</p> <p>①避難所は小学校だけでは混雑するので、自治会の集会所も指定する。 ※身体弱者は集会所に避難できるようにし、設備と運営方法を整備する。</p> <p>②避難所のトイレ地獄を解消する：マンホール直結トイレを多数設ける。</p> <p>③避難所の雑魚寝を解消する：簡易ベッドと仕切りを用意する。</p> <p>④自治会の組織力を強化する：組織のモデルプランを作り公表する。</p>	
各務原市の考え	
<p>本市におきましては、「災害は必ず来る」という認識の下、現状でも災害対策を推進しているところです。</p> <p>避難所につきましては、「一次避難所」である小学校等に避難者を収容できない場合には「二次避難所」を開設し、二次避難所にも避難者を収容できない場合には「三次避難所」を開設することとなっているほか、特別な配慮を必要とする高齢者等のための避難所として、福祉センター等を「福祉避難所」として指定し、その設置・運営マニュアルも整備しております。</p> <p>また、一次避難所におけるマンホールトイレの整備、ダンボールベッドやパーティションの備蓄など、避難所の環境整備や、自治会が組織する自主防災組織の活動に必要な防災資機材に対する補助金を設けるなどの支援の取り組みを進めているところです。</p> <p>基本構想（素案）におきましても、「基本目標6 みんなで築く安全安心のまち《防災・防犯》」を掲げ、市民の安心を脅かす災害や犯罪、交通事故等に対して、自助・共助・公助によって平時から暮らしの安全を確保することで、誰もが安心して暮らせるまちをめざすこととしております。</p>	